



⑥ 高等学校 商業科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「商業科」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数字で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から64までの通し番号になっており、例えば、25番を

25

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

フリガナ	コウケイ タロウ	教科名	商業科
名前	神戸 太郎		

数字で記入……

受験番号					小問番号	解答記入欄	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答				
						1 - 25		26 - 50		51				
1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	51	0	0	0	0
2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	52	0	0	0	0
3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	53	0	0	0	0
4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	54	0	0	0	0
5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	55	0	0	0	0
6	0	0	0	0	6	0	0	0	0	56	0	0	0	0
7	0	0	0	0	7	0	0	0	0	57	0	0	0	0
8	0	0	0	0	8	0	0	0	0	58	0	0	0	0
9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	59	0	0	0	0
10	0	0	0	0	10	0	0	0	0	60	0	0	0	0
11	0	0	0	0	11	0	0	0	0	61	0	0	0	0

【1】 次の問いに答えよ。

(1) 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成30年3月 文部科学省)における「第3章 主として専門学科において開設される各教科 第3節 商業 第2款 各科目 第2 課題研究」[2 内容]と「3 内容の取扱い」に関する記述の一部である。(ア)～(エ)にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

2 内容

次の〔指導項目〕を指導する。

- (1) 調査, 研究, 実験
- (2) 作品制作
- (3) 産業現場等における実習
- (4) 職業資格の取得

3 内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には, 次の事項に配慮するものとする。

ア 生徒の興味・関心, (ア)等に応じて,〔指導項目〕の(1)から(4)までの中から,個人又はグループで商業の各分野に関する適切な課題を設定し,(イ)に取り組む学習活動を通して,専門的な知識,技術などの(ウ)を図り,ビジネスに関する課題の解決に取り組むことができるようにすること。なお,課題については,(1)から(4)までの2項目以上にまたがるものを設定することができること。

イ 課題研究の成果について発表する機会を設けるようにすること。

ウ〔指導項目〕の(4)については,(エ)に関して探究する学習活動を取り入れるよう留意して指導すること。

- | | | | |
|------------|--------------|------------|----------|
| ① (ア) 進路希望 | (イ) 自主的かつ合理的 | (ウ) 深化・融合化 | (エ) 検定資格 |
| ② (ア) 進路希望 | (イ) 主体的かつ協働的 | (ウ) 深化・総合化 | (エ) 職業資格 |
| ③ (ア) 進路選択 | (イ) 主体的かつ科学的 | (ウ) 進化・融合化 | (エ) 職業資格 |
| ④ (ア) 進路希望 | (イ) 自主的かつ科学的 | (ウ) 深化・総合化 | (エ) 職業資格 |
| ⑤ (ア) 進路選択 | (イ) 主体的かつ協働的 | (ウ) 進化・融合化 | (エ) 検定資格 |

(2) 「高等学校学習指導要領解説 商業編」(平成30年7月 文部科学省)を踏まえ、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 従前の「ビジネス実務」については、ビジネスにおいて円滑にコミュニケーションを図るために必要な資質・能力を育成する観点から指導項目を再構成し、「ビジネス・コミュニケーション」とした。
- ② 従前の「マーケティング」と「広告と販売促進」については、効果的にマーケティングを展開するために必要な資質・能力を育成する観点から指導項目を整理して統合し、「マーケティング」とした。
- ③ 従前の「ビジネス経済応用」については、経営資源を最適に組み合わせて適切にマネジメントを行うために必要な資質・能力を育成する観点から企業経営、ビジネスの創造などに関する指導項目を分離し、「ビジネス・マネジメント」とした。
- ④ 「財務会計Ⅰ」については、株式会社の実務で必要とされる会計処理の内容を踏まえ、外貨建取引の会計処理に関する指導項目などを従前の「財務会計Ⅱ」から移行するとともに、連結財務諸表の作成に関する指導項目などを「財務会計Ⅱ」に移行するなど改善を図った。
- ⑤ 従前の「プログラミング」の指導項目と「ビジネス情報管理」の情報システムの開発に関する指導項目については、企業活動に有用なプログラムと情報システムを開発するために必要な資質・能力を育成する観点から整理して統合し、「プログラミング管理」とした。

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 地域独自の魅力を掘り起こし、内外の人々に向けてわかりやすく伝える活動を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① シビックプライド ② インバウンド ③ 地域ブランディング
④ リノベーション ⑤ DMO

3

(2) ものインターネットが繋がり、さまざまな知識や情報が共有される仕組みを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① IoT ② ICT ③ SaaS ④ O2O ⑤ SNS

4

(3) 2.5%利付社債、額面¥400,000 を市場価格¥96.50で買い入れ、支払代金として¥0,000を支払った。ただし、利払日からの経過日数は146日であった。、にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。

5 6

(4) 生産者は消費者が欲しいものを把握しにくく、消費者は生産者がどのようなものをつくっているのかわからないために生じる隔たりを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 人的隔たり ② 情報の隔たり ③ 空間的隔たり
④ 時間的隔たり ⑤ 価値的隔たり

7

(5) ビジネスを取り巻く外部環境から存続可能性や成長可能性を評価する際に、利益ポテンシャルに注目する分析方法を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① SWOT分析 ② PEST分析 ③ VRIO分析
④ 4P分析 ⑤ ファイブ・フォース分析

8

(6) 販売促進の戦略の中で、主に広告を利用して商品の知名度を上げ、それによって消費者の指名買いを促し、大量販売を実現しようとするものを何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ブランド戦略 ② プッシュ戦略 ③ 企業戦略
④ プル戦略 ⑤ パブリシティ戦略

9

(7) 消費者、株主、従業員、地域住民、官公庁といった企業活動に影響力を持つ利害関係者を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ステークホルダー ② ディスクロージャー ③ スポークスパーソン
④ サポーター ⑤ アフィリエイト

10

(8) 1株につき配当金が年¥13、希望利回り3%のとき、指値は¥11 12 0であった。11、12にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。ただし、¥10未満は切り捨てている。

11 12

(9) マーケティング活動による利益の一部を寄付金などによって社会貢献し、企業の社会的責任を果たしつつ営業成果の向上を目指す活動を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① リレーションシップ・マーケティング ② インタラクティブ・マーケティング
③ インターナル・マーケティング ④ コーズリレーテッド・マーケティング
⑤ 感性マーケティング

13

(10) 実用新案権についての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 商品等の形状、構造、その組み合わせが保護の対象である。
② 特許権で保護対象とされる方法や材料そのものも保護の対象である。
③ 特許法で保護する技術的に高度な発明とは別に、高度ではない技術的な発明及び工夫は考案として保護する。
④ 特許権と異なり、実体的な審査がなく、無審査である。
⑤ 登録料を支払うことにより、登録日から権利が発生し、出願日から10年間で消滅する。

14

(11) 商品の需要量に影響を与えると考えられる要素を指数で示し、売上高とこの数値の関係から販売予測を行う方法を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 売上高実績法 ② コストプラス法 ③ 市場指数法
④ PL法 ⑤ 意見収集法

15

(12) ¥600,000を年利率2.5%の単利で1年4か月間貸して、期日に元利合計¥16170,000を受け取った。

16、17にあてはまる数字をマークシートの①～⑤から選び、番号で答えよ。

16	17
----	----

(13) 金融についての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 株式は持分に応じて経営に参加する権利をあらわす。資本市場では株式会社の経営権そのものをめぐって取引が展開されることも多い。企業間のM&Aは、その典型的な事例である。
- ② 金融機関の間で生じる一時的な資金の過不足を調整する市場のうち、翌日から1週間以内といったごく短い期間を対象にする市場をコール市場という。
- ③ 伝統的な金融商品に付随するリスクを減少させるために、デリバティブとよばれる金融商品が活発に取引されるようになっている。
- ④ 一定数の株式に転換する権利がついた社債をワラント債とよぶことが多い。
- ⑤ 証券会社の業務には、委託売買業務、引受業務や募集・売出業務のほかに、自己資金で証券の売買を行う自己売買業務がある。

18

(14) GDPについての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① GDPは一国内で一定期間に生み出された付加価値の合計であると定義されている。
- ② ある瞬間における存在量を表すのがストック変数であり、GDPが含まれる。
- ③ 経済活動の活発さの指標としてGDPをみるためには、物価変動による影響を取り除く必要がある。この調整を行ったGDPを実質GDPという。
- ④ 物価変動による影響を取り除く調整を行う前の、その時々で価格で評価されたGDPを名目GDPという。
- ⑤ 実質GDPと名目GDPを比較することで物価の動きを知ることができる。

19

(15) 次の物権のうち用益物権にあたらないものはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 地上権 ② 地役権 ③ 抵当権 ④ 永小作権 ⑤ 入会権

20

(16) 契約における意思表示において、第三者が善意・無過失であっても契約の無効を主張できるのはどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 心裡留保 ② 虚偽表示 ③ 錯誤 ④ 詐欺 ⑤ 強迫

21

【3】 次の問いに答えよ。

(1) A株式会社は、設立に際し、株式400株を1株につき¥65,000で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金のうち¥20,000は、資本金に計上しないことにした。このとき、A株式会社の仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借 方	貸 方
①	当座預金 26,000,000	資本金 18,000,000 資本準備金 8,000,000
②	当座預金 26,000,000	資本金 18,000,000 利益準備金 8,000,000
③	当座預金 26,000,000	資本金 18,000,000 繰越利益剰余金 8,000,000
④	当座預金 26,000,000	資本金 18,000,000 任意積立金 8,000,000
⑤	当座預金 26,000,000	資本金 18,000,000 別途積立金 8,000,000

22

(2) 資料から売価還元法によって、期末商品の評価高を計算したところ、期末商品の評価額は¥23 24 0,000となった。23、24にあてはまる数字をマークシートの①～⑥から選び、番号で答えよ。ただし、商品有高帳は移動平均法で記帳している。

資 料

	原価	売価
期首商品棚卸高	¥ 600,000	¥ 780,000
当期商品仕入高	6,400,000	9,220,000
期末商品棚卸高		700,000

23 24

(3) B商店の令和〇年12月31日（決算年1回）における総勘定元帳の貸付金残高は¥600,000であった。決算にあたり、貸付金残高のうち¥450,000は1年以内に返済期限が到来するとわかった。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借 方	貸 方
①	短期貸付金 450,000	長期貸付金 450,000
②	短期貸付金 150,000 未収金 450,000	貸付金 600,000
③	貸付金 450,000	短期貸付金 450,000
④	短期貸付金 450,000 長期貸付金 150,000	貸付金 600,000
⑤	短期貸付金 150,000	未収金 150,000

25

(4) その他利益剰余金のうち任意積立金以外の部分を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 繰越利益剰余金 ② 別途積立金 ③ 配当平均積立金
④ 新築積立金 ⑤ 利益準備金

26

(5) 国際財務報告基準の略称として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ASBJ ② IASB ③ IOSCO ④ IAS ⑤ IFRS

27

(6) C商店(個人商店)の令和〇年12月31日(決算年1回)における総勘定元帳残高と決算整理事項によって、精算表を作成した。このとき、当期純利益は¥282930,000であった。28、29、30にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。ただし、「※」の勘定科目は各自で考えること。

総勘定元帳残高

現金	¥ 760,000	当座預金	¥ 950,000	売掛金	¥ 400,000
貸倒引当金	8,000	繰越商品	220,000	買掛金	270,000
資本金	1,700,000	売上	2,350,000	仕入	1,400,000
給料	570,000	保険料	12,000	支払家賃	16,000

決算整理事項

- 1 期末商品棚卸高 ¥170,000
- 2 貸倒引当金の設定は、売掛金残高の3%で、差額補充法による。
- 3 家賃の未払高 ¥ 10,000

精算表

令和〇年12月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金								
当座預金								
売掛金								
貸倒引当金								
繰越商品								
買掛金								
資本金								
売上								
仕入								
給料								
保険料								
支払家賃								
※								
※								
当期純利益								

28	29	30
----	----	----

(7) D商店は第4期初頭に車両運搬具を¥1,000,000で買入れた。この代金はこれまで使用してきた車両運搬具を¥350,000で下取りに出し、代金の差額は小切手で支払った。ただし、この旧車は第2期初頭に¥900,000で買入れたもので、定率法により毎期の償却率を0.300として減価償却費を計上し、間接法により記帳してきた。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借 方		貸 方	
①	車両運搬具減価償却累計額	459,000	車両運搬具	900,000
	車両運搬具	1,000,000	当座預金	650,000
	固定資産売却損	91,000		
②	車両運搬具減価償却累計額	270,000	車両運搬具	600,000
	車両運搬具	1,000,000	当座預金	650,000
			固定資産売却益	20,000
③	車両運搬具	900,000	車両運搬具減価償却累計額	459,000
	当座預金	350,000	車両運搬具	1,000,000
	固定資産売却損	209,000		
④	車両運搬具	600,000	車両運搬具減価償却累計額	270,000
	当座預金	650,000	車両運搬具	1,000,000
	固定資産売却益	20,000		
⑤	車両運搬具	1,000,000	車両運搬具	350,000
			当座預金	650,000

31

(8) 企業会計原則の一般原則の中で、「企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に健全な会計処理をしなければならない。」とする原則はどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 明瞭性の原則 ② 正規の簿記の原則 ③ 継続性の原則
 ④ 保守主義の原則 ⑤ 資本取引・損益取引区分の原則

32

(9) 次の資料から、当期純利益を計算したところ¥33,340,000であった。33、34にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。ただし、法人税・住民税及び事業税は税引前当期純利益の40%を計上した。

資 料

営業利益	¥420,000	営業外収益	¥360,000	営業外費用	¥80,000
投資有価証券売却損	6,000	固定資産売却益	50,000	災害損失	30,000
投資有価証券売却益	30,000	固定資産除却損	24,000	固定資産売却損	70,000

33 34

- (10) E社は、F社の発行済株式数の全部を¥300,000で取得し、支配した。なお、支配獲得日におけるE社とF社の貸借対照表は次のとおりであった。このとき作成した連結貸借対照表で、のれん（貸方）は¥,000であった。、にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。ただし、F社の諸資産の時価は¥500,000であり、諸負債の時価は帳簿価額に等しかった。

E社		貸借対照表		F社		貸借対照表	
諸資産	950,000	諸負債	300,000	諸資産	400,000	諸負債	150,000
子会社株式	300,000	資本金	800,000			資本金	180,000
		利益剰余金	150,000			利益剰余金	70,000
	<u>1,250,000</u>		<u>1,250,000</u>		<u>400,000</u>		<u>400,000</u>

- (11) 原価要素のなかの変動費だけで製造原価を計算する原価計算を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 個別原価計算 ② 総合原価計算 ③ 実際原価計算 ④ 標準原価計算
⑤ 直接原価計算

- (12) 次の資料から、7月の予算差異は¥0,000（不利差異）であった。にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

資料

- ア 7月の予定直接作業時間 1,000時間（基準操業度）
イ 7月の実際直接作業時間 900時間
ウ 7月の公式法変動予算による製造間接費予算
 変動費予算額 ¥600,000 固定費予算額 ¥900,000
エ 7月の製造間接費実際発生額 ¥1,450,000

- (13) G社は総合原価計算を採用している。次の資料から完成品原価は¥,,0,000であった。、、にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。ただし、素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。また、月末仕掛品原価の計算は平均法を用いている。

資料

- ア 当月製造費用 素材費 ¥920,000 加工費 ¥950,000
イ 月初仕掛品 素材費 ¥ 80,000 加工費 ¥150,000
ウ 月末仕掛品 数量 1,000個 (加工進捗度40%)
エ 当月完成品 数量 4,000個

(14) H社は、次の資料から当月の組別総合原価計算表を完成させた。組別総合原価計算表の42にあてはまる数字をマークシートの①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、1.「※」は各自で計算すること。2. 組間接費は、各組の直接材料費を基準として配賦する。3. 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。4. 月末仕掛品原価の計算は平均法を用いている。

資料

ア 当月製造費用

A組	素材費	¥1,000,000	労務費	¥830,000	経費	-
B組	素材費	800,000	労務費	650,000	経費	-
組間接費	素材費	60,000	労務費	200,000	経費	¥280,000

イ 月初仕掛品原価

A組	素材費	¥195,000	加工費	¥185,000
B組	素材費	160,000	加工費	190,000

ウ 月末仕掛品原価

A組	素材費	¥290,000	加工費	¥220,000
B組	素材費	140,000	加工費	120,000

エ 完成品数量

A組	1,000個	B組	500個
----	--------	----	------

組別総合原価計算表

令和〇年7月分

摘要	A組	B組	合計
組直接費 素材費	※	※	※
加工費	※	※	※
組間接費 加工費	※	※	※
当月製造費用	※	※	※
月初仕掛品原価	※	※	※
計	※	※	※
月末仕掛品原価	※	※	※
完成品原価	※	※	※
完成品数量	※	※	※
製品単価	42	※	

① 1,700 ② 1,940 ③ 2,000 ④ 2,240 ⑤ 2,510

42

- (15) I社の正常な操業度の範囲は360時間から530時間である。次の資料から高低点法を用いて月間の固定費を計算した。このとき、月間の固定費は¥ ,000であった。、、にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

資料

月	直接作業時間	原価発生額
1	460時間	¥520,000
2	400	480,000
3	420	500,000
4	350	430,000
5	520	570,000
6	500	540,000

43	44	45
----	----	----

- (16) J社は、次の資料により直接原価計算を行って、変動製造マージンを計算したところ、変動製造マージンは¥ 00,000であった。、にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

資料

ア	当期製品売上高	¥7,000,000
イ	当期製品完成高 (変動製造原価)	3,800,000
ウ	月初製品棚卸高 (変動費)	400,000
エ	月末製品棚卸高 (変動費)	500,000

46	47
----	----

【4】 次の問いに答えよ。

(1) (ア)～(エ)の文について、a・bともに正しい場合は①、aは正しくbが誤りの場合は②、aは誤りでbが正しい場合は③、a・bともに誤りの場合は④と番号で答えよ。

(ア)

- a ルータは、他のネットワークに必要な通信データのみを送ることで、不要な通信データを破棄して、ネットワーク全体の通信効率を高めることができる。経路の混雑や装置の故障などが発生した場合にも、効率的な経路を選び直すことができるようになっている。
- b 異なる通信手段で通信しているネットワークどうしを接続する装置をハブという。ハブは、インターネットで一般的に利用されている通信手順のネットワークと、独自の通信手順によるネットワークを接続する場合などに利用されている。

48

(イ)

- a ホストコンピュータと呼ばれるすべての情報を管理している高性能なサーバと、データの入力やサーバで処理された結果を表示する最小限の機能を備えている端末で構成されるネットワークをピアツーピアシステムという。
- b ネットワーク接続されるコンピュータが、サービスの提供もサービスを受け取ることも、ともに行うシステムをクライアントサーバシステムという。特定のサーバを持たないかわりに、情報を分散し合っでそれぞれのコンピュータがサーバ機能を持っている。

49

(ウ)

- a インターネットを通じた不正利用から内部のコンピュータを守るためには、インターネットからのデータと、内部のネットワークからインターネットへ送るデータを監視し、不要なデータを遮断する必要がある。この機能をファイアウォールといい、ハードウェアでのみ機能する。
- b ウイルス対策ソフトウェアのウイルス定義ファイルのように、常に新しい情報が必要となるものは、定期的なアップデートが必要になる。しかし、OSやブラウザなどは、ウイルス対策ソフトウェアと同じような定期的なアップデートは必要ではない。

50

(エ)

- a 企業などが情報資産をどのように管理していくかを考えて、組織全体として方針をまとめていくことを情報セキュリティマネジメントという。企業などが情報セキュリティに取り組む際には、その基本方針を文書化する必要がある。
- b 世界中のコンピュータを使って、鎖のようにデータをつないで記録するしくみをブロックチェーンという。記録したデータを書きかえるためには鎖をつなぎ合わせるように過去のデータを遡る必要があり、改ざんは可能であるとされている。

51

(2) 次の基数変換に関する計算問題の解答として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお []
の中の数字は基数を意味する。例) [2]・・・2進数

$$1101_{(2)} + 1011_{(2)} = (\boxed{52})_{(10)}$$

- ① 18 ② 19 ③ BD ④ D7 ⑤ DB

52

(3) 通信速度10Mbpsの通信回線を用いて、8MBのデータを伝送するのに必要な転送時間はいくらか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、伝送効率は80%とし、1KB = 10³B、1MB = 10⁶Bとする。

- ① 1秒 ② 8秒 ③ 1ミリ秒 ④ 8ミリ秒 ⑤ 1マイクロ秒

53




(4) 平均故障間隔が441時間で稼働率が98%のシステムがある。このシステムの平均修復時間は $\boxed{54}$ 時間である。 $\boxed{54}$ にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

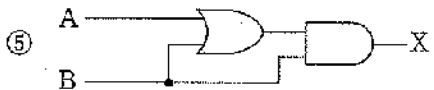
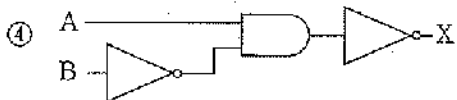
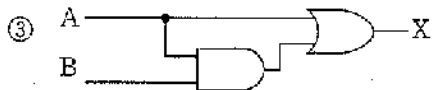
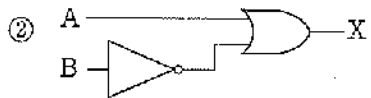
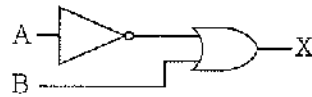
54

(5) よこ12.7cm、たて25.4cmの画像を、解像度600dpiのイメージスキャナを使ってフルカラー (24ビットカラー) で読み込むと、データ量は約 $\boxed{55}$ $\boxed{56}$ MBである。 $\boxed{55}$ 、 $\boxed{56}$ にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。ただし、1インチは2.54cmとし、1KB = 10³B、1MB = 10⁶Bとする。

55 56

(6) 次の論理回路と同じ出力結果である論理回路はどれか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ただし、 は論理積 (AND)、 は論理和 (OR)、 は否定 (NOT) を表す。



(7) 次の擬似言語の記述形式及び処理から、Jに18を入力したとき出力されるMの値として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

擬似言語の記述形式

- 1 ☆: 手続、変数などの名前、型などの宣言
- 2 ・式 → 変数: 変数に式の値を代入する。
- 3 ↑ 条件式 : 条件式が真のときに処理を実行する。
↓
・処理
- 4 ↑ 条件式 : 条件式が真のときに処理1を実行し、偽のときは処理2を実行する。
↓
・処理1
↓
・処理2
- 5 ↑ 条件式 : 条件式が真の間、処理を繰り返し実行する。
↓
・処理

処理

☆整数型: J, K, L, M

- ・ J → M
- ・ 6 → K
- ・ 0 → L

↑ M > 0
↓
・ M - K → M
↓
・ L + 1 → L

↑ M = 0
↓
・ L - 1 → L
↓
・ M + K → M

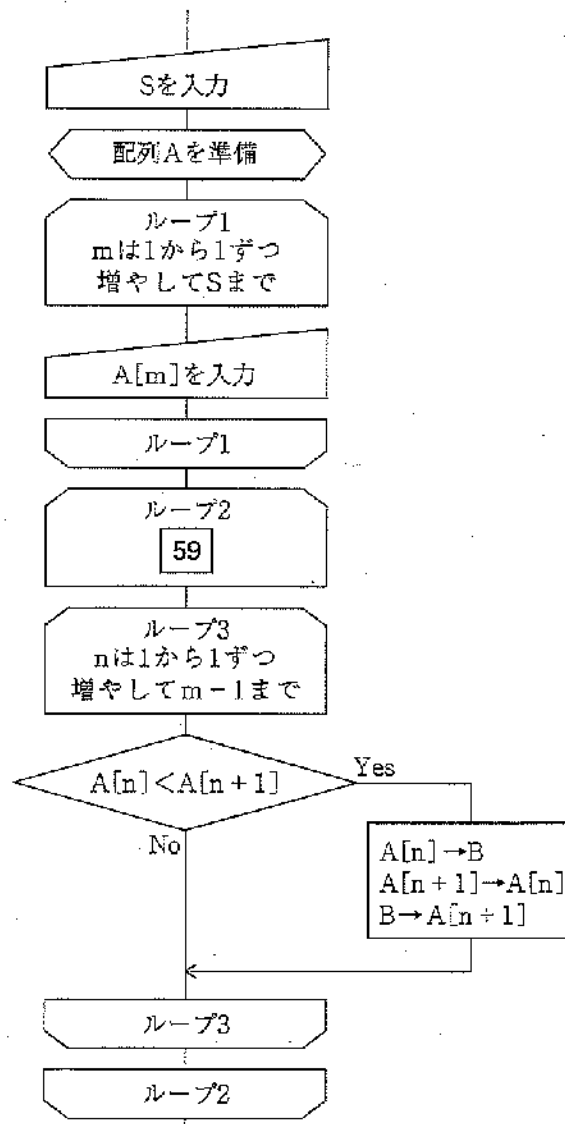
・ J, K, L, Mを出力する

- ① 0 ② 6 ③ 12 ④ 18 ⑤ 24

(8) 次の図は、ソフトボール投げのデータをキーボードから入力して、飛距離の大きい順に並んだ記録表を作成するプログラムのための流れ図の一部である。流れ図の **59** にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

処理条件

- 1 初めに参加人数を入力する。
- 2 入力データは複数あり、飛距離で整列していない。
- 3 参加人数分の記録を入力すると入力を終了し、記録表を表示する。



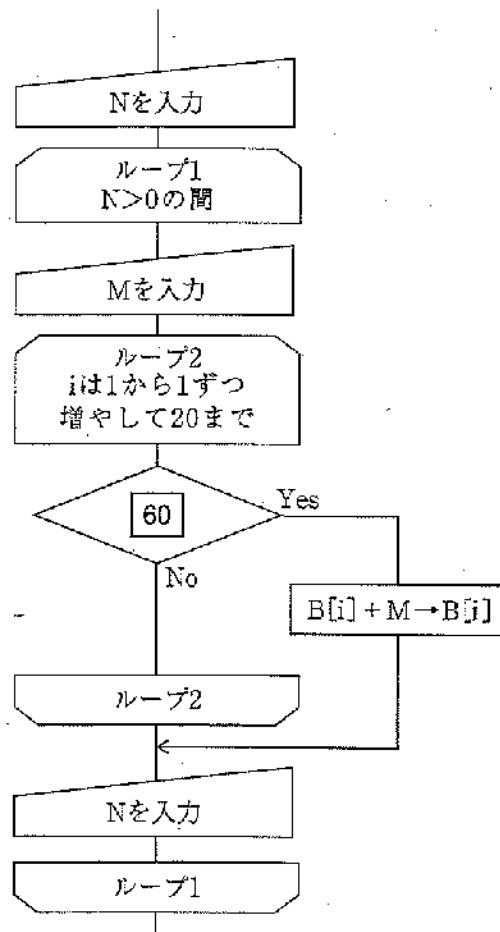
- ① mはSから1ずつ減らして2まで ② nはSから1ずつ減らして2まで
 ③ mはSから1ずつ減らして1まで ④ nはSから1ずつ減らして1まで
 ⑤ nはSから1ずつ減らして0まで

59

(9) 次の図は、商品コードと出荷数量をキーボードから入力し、配列にあらかじめ格納されている販売単価を探索し、売上金額を表示するプログラムのための流れ図の一部である。流れ図の **60** にあてはまる適切なものを①～③から選び、番号で答えよ。

処理条件

- 1 商品は20種類ある。
- 2 商品コードが格納されている配列と、販売単価が格納されている配列とは対応している。
- 3 入力データは複数あり、商品コード順に整列していない。
- 4 商品コードに0を入力すると、入力を終了し、売上表を表示する。
- 5 商品コードにエラーはない。



- ① $M == A[i]$ ② $M == B[i]$ ③ $N == B[i]$ ④ $A[i] == B[i]$ ⑤ $N == A[i]$

60

(10) 次のSQL文は、社員表、個人表から勤続年数が5年以下の社員を抽出するものである。SQL文の 61 にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

使用する表の項目名

社員表

社員コード	名前	所属コード
-------	----	-------

個人表

社員コード	生年月日	住所	勤続年数
-------	------	----	------

所属表

所属コード	所属部門名
-------	-------

SELECT 名前, 勤続年数 FROM 社員表, 個人表
WHERE 61

- ① 所属コード GROUP BY 名前 HAVING COUNT 勤続年数 <=5
- ② 社員コード IN (SELECT 社員コード FROM 個人表 WHERE 勤続年数 <=5)
- ③ 所属コード = (SELECT 社員コード FROM 個人表 WHERE 勤続年数 <=5)
- ④ 社員コード AS (SELECT 社員コード FROM 個人表 WHERE 勤続年数 <=5)
- ⑤ 勤続年数 <=5 ORDER BY 社員コード ASC

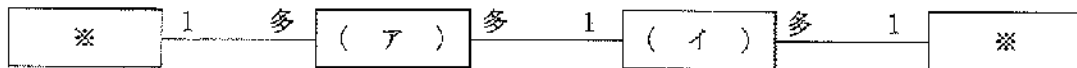
61

(11) ある書店では、新刊書籍について次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。
E-R図の(ア)、(イ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、「※」は各自で考えること。

エンティティと項目

書籍データ	受注データ	明細データ	顧客データ
書籍コード	受注番号	受注番号	顧客コード
書名	顧客コード	書籍コード	顧客名
出版社名	日付	受注冊数	住所
価格			電話番号

E-R図



- ① (ア) 受注 (イ) 明細
- ② (ア) 明細 (イ) 書籍
- ③ (ア) 受注 (イ) 顧客
- ④ (ア) 明細 (イ) 受注
- ⑤ (ア) 顧客 (イ) 書籍

(12) ある商業施設の駐車料金は30分300円で、30分を超えるごとに300円加算される。また、この施設で3,000円以上の買い物をするると1時間無料のサービスが受けられる。セル「D3」に駐車料金を表示するために入力する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	A	B	C	D	E
1	駐車料金一覧表				
2	車両ナンバー	駐車時間 (分)	買物金額 (円)	駐車料金 (円)	
3	3278	74	3,500	300	
4	2150	45	2,800	600	
5	7406	95	2,000	1,200	
6	3611	31	2,900	600	
7	1241	58	3,500	0	

- ① =IF(C3>=3000,(IF((ROUNDUP(B3/30,0)-2)>0,(ROUNDUP(B3/30,0)-2)*300,0)),ROUNDUP(B3/30,0)*300)
- ② =IF(C3>=3000,(ROUNDUP(B3/30,0)-2)*300,ROUNDUP(B3/30,0)*300)
- ③ =IF(C3>=3000,(IF((ROUNDDOWN(B3/60,0)-2)>0,(ROUNDDOWN(B3/60,0)-2)*300,0)),ROUNDDOWN(B3/60,0)*300)
- ④ =IF(C3>=3000,(ROUNDDOWN(B3/30,0)-2)*300,ROUNDDOWN(B3/30,0)*300)
- ⑤ =IF(C3>=3000,(ROUNDDOWN(B3/60,0)-2)*300,ROUNDDOWN(B3/60,0)*300)

(13) 次の成績表は、実技試験と筆記試験の結果である。どちらの試験も70点以上の人数を表示するため、セル「F6」にその人数を表示する式を入力した。セル「F6」に入力する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	A	B	C	D	E	F	G
1	成績表				条件		
2	受験番号	実技	筆記		実技	筆記	
3	1001	75	86		>=70	>=70	
4	1002	92	79				
5	1003	69	74				
6	1004	71	65				
7	1005	68	83				
8	1006	79	70				
9	1007	78	67				
10	1008	65	77				
11	1009	79	63				
12	1010	66	79				

両方が70点以上の人数

3

- ① =DCOUNTA(A3:C12,1,E2:E3)
- ② =DCOUNT(A2:C12,2,E2:E3,F2:F3)
- ③ =DCOUNTA(A2:C12,1,E2:F3)
- ④ =DCOUNTA(A3:C12,1,E2:E3&F2:F3)
- ⑤ =DCOUNT(A3:C12,2,E2:F3)